

大 学 院 特 別 講 義

(医歯学先端研究特論)

下記により大学院講義を行います。大学院以外の先生方も是非ご来聴下さい。

記

1．講師： 大学院非常勤講師（片岡 歯科医院）

副院長 **片岡 博樹 先生**

2．演題： 「**歯内療法、理論と実際**
- 保険医としての取り組み方 -」

3．日時： 平成24年2月28日（火）17：00～19：00

4．場所： 演習室1・2（1号館西6階）

5．内容：

一般の歯科臨床では、根管治療は保険診療の枠の中で行われ、その治療にかかる多大な労力と時間の割に保険点数が低いという、非採算部門として認識されています。歯内療法学の学生時代に教育されてきた内容と、臨床の場で実践される治療内容のギャップに悩む若い臨床医も数多く存在すると思います。一方、欧米ではこの分野の専門医はエンドドンティストと呼ばれ、治療時には歯科用顕微鏡を使用して多大な時間をかけ、私費で患者から報酬を得ています。近年、わが国においてもエンドドンティストが増えつつあり、多くの一般歯科医院においても、歯科用顕微鏡が根管治療だけでなく幅広い分野で用いられるようになっていきます。

今回は、保険診療の中で根管治療をどのように効率的に行うかを考察してみたいと思います。

連絡先：歯学教育システム評価学（MDセンター）荒木孝二（内4577）